

	一般的名称	報告の概要
690	インドメタシン	15の後ろ向きコホート研究と6つの症例比較対照試験によるメタアナリシスにより、妊婦への出産前インドメタシン投与は、新生児での脳室周囲白質軟化症と壊死性腸炎の発症リスクを高めることが示唆された。
691	ヘパリンナトリウム	一医療機関においてヘパリンを投与されたHIV感染患者53例と非感染患者106例を対象としたレトロスペクティブコホート研究において、HIV感染患者ではHITの発生率が高いことが示唆された。
692	アセトアミノフェン	インフルエンザに罹患した国内の小児において、アセトアミノフェンを使用している群は、未使用群と比較して、意識障害の発現リスクが高まることが示唆された。
693	アレンドロン酸ナトリウム水和物	患者データベースを用いて65歳以上の心疾患を有する無腐性骨壊死患者196例、コントロール1960例のケースコントロール研究において、ビスホスホネート製剤投与により無腐性骨壊死のリスクが高まることが示唆された。
694	塩酸イリノテカン	進行性非小細胞肺癌の韓国人患者81例を対象としたイリノテカン/シスプラチン併用化学療法の第Ⅱ相試験において、有機アニオン輸送ポリペプチド1B1 (OATP1B1)の遺伝子多型を持つ患者で重度の好中球減少症や重度の下痢の発現率が高かった。
695	ホリナートカルシウム	75歳以上の大腸癌患者55例を対象としたロイコボリン/テガフル・ウラシル療法の第Ⅱ相多施設共同単群非盲検試験において1例が脳血管虚血により死亡した。
696	レボホリナートカルシウム	結腸癌または直腸癌を完全に切除した患者3239例を対象としたレボホリナートカルシウム/フルオロウラシルによる補助化学療法群と観察群を比較した無作為化試験 (QUASAR試験)において、補助化学療法群で1例が死亡した。
697	ホリナートカルシウム	局所進行直腸癌患者155例を対象としたフルオロウラシル/ロイコボリン静注投与とテガフル・ウラシル/ロイコボリン経口投与を比較した多施設ランダム化試験において、前群で1例が急性の白血球減少症により、1例が急性腸穿孔により、2例が遅発性消化管合併症により死亡した。また、後群では外科手術の重篤合併症により1例が死亡した。
698	インターフェロンベータ1b (遺伝子組換え)	インターフェロンベータ治療歴のある日本人多発性硬化症患者308例に対するアンケートの解析において、抗AQP4抗体/NMO-IgG陽性群では効果不十分ないしは無効、原疾患の増悪により中止に至る例が多かった。
699	塩酸フルラゼパム	透析患者において、フルラゼパムを含むベンゾジアゼピン系製剤を使用している患者において死亡率が高まることが示唆された。
700	フルコナゾール	12例の健常人を対象とした無作為化交差試験において、ボリコナゾールあるいはフルコナゾールがフェンタニルの消失時間を遅延させることが示唆された。
701	ジアゼパム	透析患者において、フルラゼパムを含むベンゾジアゼピン系製剤を使用している患者において死亡率が高まることが示唆された。
702	ホリナートカルシウム	動脈内化学療法を受けた進行膵癌患者211例を対象としたレトロスペクティブ研究において、1例が突然死により死亡した。
703	ブデソニド	長期間 (少なくとも7年間) 吸入副腎皮質ステロイド治療を受けている患者において、大腿骨頸部の骨密度が減少することが示唆された。
704	エチドロン酸二ナトリウム	患者データベースを用いて65歳以上の心疾患を有する無腐性骨壊死患者196例、コントロール1960例のケースコントロール研究において、ビスホスホネート製剤投与により無腐性骨壊死のリスクが高まることが示唆された。